

第9期揖斐広域連合高齢者福祉計画・介護保険事業計画（素案） 【概要版】

◎計画期間：令和6年(2024年)度～令和8年(2026年)度

第9期計画では、今後の人口減少に伴い、医療・介護双方のニーズを有する高齢者の増加や介護人材不足への対応と地域包括ケアシステムの深化・推進を図るための施策を展開していく計画を策定する。

第1章 計画策定にあたって

少子高齢化が進み、団塊世代の人たちが75歳を迎える(令和7年)を見据え、社会全体で高齢者を支えるための仕組みづくりが求められる一方で、2025年、生産年齢人口が急減することが見込まれ、持続可能な介護保険サービスの確保が課題となり、地域包括ケアシステムをさらに深化・推進するとともに、中長期的な視点から計画を策定する。

第2章 揖斐広域連合を取り巻く現状と課題

高齢者人口・要介護(支援)認定者数の推移、認知症高齢者の状況、介護保険に関するアンケート調査より、第8期計画の振り返りを踏まえ、現状分析、評価・検証しながら今後の課題と方向性を把握する。

第3章 計画の基本的な考え方

本計画においては、今後の方針や地域の現状を踏まえ、前期の基本理念を継承し、中長期的な視点で、地域包括ケアシステムの更なる深化・推進に向けた「医療・介護・予防・住まい・生活支援」に取り組み、「地域共生社会」の実現を目指す。

第4章 施策の展開

国が示す基本指針、県・町の上位計画など関連計画との整合を図りながら、現状と課題などから、3つの基本目標に16項目の施策の柱をたてて、各事業を展開する。

第5章 介護保険事業量・事業費の見込み

国が示す基本指針、地域包括ケア「見える化」システムの活用、各種データからの現状分析を行い、サービス見込量を推計し、介護給付費や介護保険料を設定する。

第6章 計画の推進体制

基本理念や基本目標及び施策の実現に向けて「PDCAサイクル」を活用し、本計画の進捗管理及び評価・分析を行う。

★計画の基本理念と基本目標及び施策（計画体系図）★

(基本理念)

高齢者が健康で生きがいを持ち
みんなが参加するふれあい福祉のまちづくり

(基本目標及び施策)

1 住み慣れた地域で安心して暮らす仕組みづくり	
1	地域包括ケアシステムの深化・推進
2	認知症施策の推進
3	医療・介護の連携推進
4	家族介護者支援の推進
5	高齢者の権利擁護・虐待防止
6	高齢者が安心して暮らせる福祉サービスの充実
7	防犯・防災対策の推進
8	安心・安全な住環境の整備
2 高齢者がいきいきと暮らすことができる介護予防と生きがいづくり	
1	介護予防・健康づくりの推進
2	生活支援体制整備の推進
3	高齢者の社会参加や交流の促進
3 介護保険事業の充実と給付適正化	
1	介護サービスの充実
2	介護人材等の確保
3	情報提供・相談体制の充実
4	低所得者対策の推進
5	介護給付の適正化

◎基本目標1 住み慣れた地域で安心して暮らす仕組みづくり (P.67～)

- (1) 地域包括ケアシステムの深化・推進
- (2) 認知症施策の推進
- (3) 医療・介護の連携推進
- (4) 家族介護者支援の推進
- (5) 高齢者の権利擁護・虐待防止
- (6) 高齢者が安心して暮らせる福祉サービスの充実
- (7) 防犯・防災対策の推進
- (8) 安心・安全な住環境の整備

◎基本目標2 高齢者がいきいき暮らすことができる介護予防と生きがいづくり (P.85～)

- (1) 介護予防・健康づくりの推進
- (2) 生活支援体制整備の推進
- (3) 高齢者の社会参加や交流の促進

◎基本目標3 介護保険事業の充実と給付適正化 (P.97～)

- (1) 介護サービスの充実
- (2) 介護人材等の確保
- (3) 情報提供・相談体制の充実
- (4) 低所得者対策の推進
- (5) 介護給付の適正化